

活動名	やぐらづくり				【YouTube動画あり】	
概要	○丸太、板、ロープを使い、やぐらをつくる。					
ねらい	○グループ内で話し合いをしながら、作業分担を決め、協力して作業を進めることができる。 ○作業の見通しを立てることができる。 ○創造する喜びを感じることができる。					
関連教科等	図画工作・道徳・総合					
指導形態	①自主活動で実施、②職員は活動の説明のみ行う、③職員が指導を行う					
時期	通年	時間帯	日中		対象	高学年～
場所	友情の森 どんぐりの森	人数	8～180人程度 (8～15人程度/1グループ) 友情の森8基まで どんぐりの森10基まで (同時活動の場合は計12基まで)		所要時間	3時間～全日
準備物	施設で準備できるもの			団体・個人で準備するもの		
	ヘルメット、丸太、板、ロープ、片付けシート			帽子、タオル		
進め方・展開例						
内容				留意点		
活動前	○打ち合わせを行う。 ・実施の判断 ・ねらいの確認 ・集合場所、活動開始時間の確認			○荒天時は相談の上、実施判断をする。 ○引率者、職員、全員で安全管理にあたる。		
活動の説明	○職員から説明を聴く。 ・やぐらのイメージをつかむ。 ・ロープの結び方（本結び）を練習する。 ・資材等の保管場所を確認する。 ・長くて重い丸太の運搬については、みんなで協力すること。 ・説明用の材料を持って活動場所に移動し、立木と丸太の結び方を理解する。 ・丸太やロープの太さと長さなどにより使い分けをすること。 ・片づけについての手順を理解する。			○ヘルメットを配り、必要性や安全面等に気づかせ、活動中も必ず着用させる。 ○見本をよく見て練習するよう促す。 		
展開	○やぐらを組み立てる場所を決める。 ○グループ別に役割分担や手順などを話し合う。 ○材料の運搬をする。 ○やぐらづくりに取りかかる。 ①土台となる丸太を組む。 ②床を張る土台を組む。 ③必要な床板の数を計算し、運搬する。 ④床になる板を組む。 ⑤その他。（はしご等の作製） ○片付け ・作った時の順番とは反対に解体していく。 ・丸太や床板は資材庫にもどす。 ・ロープは、10本ずつ束にしてかける。 ・ヘルメットを元の場所に返す。			○見通しをもたせることが大切である。 ○土台の取り付けは、安全上最も大切である。 ○無駄のないように概数を算出する方法に気づかせる。 ○ロープワークに触れる。 ※原則、2階は作らない。 ○「片付けシート」を参考にする ○片づけが終了したら職員の点検を受ける。 (次の日も可)		
まとめ	○グループごとに、やぐらのでき具合を見せ合う。 ○それぞれ班のできばえや感想を発表し合ったり、どんなところが難しかったか、どんなところを工夫したかなどを質問し合ったりする。					
評価	○話し合いにより分担を決め、協力して作業をすることができたか。 ○見通しを立てて作業することができたか。 ○創造する喜びを感じることができたか。					
発展	○やぐらにとどまらず、ブランコやターザンロープといった遊具などをつくってみるのもよい。 ○研修活動の基地として活用してもよい。					